

令和8年度事務アシストステーションの実施内容について

区は、令和7年6月から事務アシストステーションの試行を開始し、庁内の定型業務等の集約・一括処理を行い、事務効率化を図るとともに、会計年度任用職員として障害者の雇用を促進することにより、職員の働き方改革及び障害者雇用を推進してきたところである。

これまでの試行の実施状況を踏まえ、令和8年度の実施内容について、以下のとおり取りまとめたので報告する。

1 試行の実施状況

障害者雇用の職員（会計年度任用職員）5名及びジョブコーチ（会計年度任用職員）2名の体制で、全庁的な業務に加えて、総務部及び企画部内の業務を中心に依頼を受け、各課の業務を支援している。

依頼元職場の業務削減時間	約1,250時間（141件）
--------------	----------------

※ 令和7年9月末までの4か月間における実績

2 令和8年度の実施内容

(1) 運営体制の拡充

	令和7年度	令和8年度
障害者雇用の職員	5名	8名
ジョブコーチ	2名	3名

(2) 運営内容の拡充

① 対象部署の拡大

庁外施設を含め、全庁の部署から依頼を受け、各課の業務を支援する。

② 障害者雇用推進に係る業務支援委託

障害者雇用の職員等に対して定期面談を行うなどの支援体制を整備するとともに、依頼を受ける業務の拡大を図るため、福祉的知見を有する専門事業者に業務支援を委託する。

3 今後のスケジュール（予定）

令和7年11月～	業務支援委託の事業者の選定（企画提案公募型）
12月～	障害者雇用の職員及びジョブコーチの採用
令和8年4月	本格実施（運営体制及び内容の拡充）